



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



2021年2月11日朝刊

記事を読んで問いに答えましょう。



方広寺で発見された築地塀の礎石
＝10日午後、京都市

豊臣秀吉が創建した方広寺（京都市東山区）で、大仏殿を囲む築地塀の柱を据えた礎石が発見され、京都市埋蔵文化財研究所が10日、発表した。江戸時代に焼失した大仏殿は、南北約90㍎、東西約55㍎と推定されており、奈良・東大寺をしのぐ国内最大の木造建築物だったといい、創建時の様子を知る手掛かりになるという。

秀吉創建の方広寺(京都) 築地塀跡発見

研究所によると、礎石を割る際に生じる矢穴の形状が、秀吉が晩年に築いた京都新城（同市上京区）の石垣に残る跡と似ていたことから、築地塀は秀吉期の造営とみられる。礎石は方広寺の南東部で二つ発見され、築地塀の南辺と考えられるという。礎石には柱を固定するためのくぼみがあり、柱は3・3㍎間隔で並んでいたとみられる。研究所の南孝雄調査課長は「荘厳な大仏殿にふさわしく、築地塀も巨大だったと推測される」と話す。方広寺大仏殿は1567年に焼けた東大寺大仏殿に代わるものとして秀吉が造営した。96年の大地震で大仏が破損した。

①京都市東山区の方広寺を創建したのは誰ですか。

()

②江戸時代に焼失した方広寺の大仏殿はどのくらいの大きさで推定されていますか。

③方広寺の大仏殿を造営した理由は何ですか。

[]

④今回発見された「築地塀の柱を据えた礎石」が秀吉時代のものと考えられる理由は何ですか。

[]

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／社会)

2021年2月11日朝刊

解答例

記事を読んで問いに答えましょう。



方広寺で発見された築地塀の礎石
＝10日午後、京都市

豊臣秀吉が創建した方広寺（京都市東山区）で、大仏殿を囲む築地塀の柱を据えた礎石が発見され、京都市埋蔵文化財研究所が10日、発表した。江戸時代に焼失した大仏殿は、南北約90メートル、東西約55メートルと推定されており、奈良・東大寺をしのぐ国内最大の木造建築物だったといい、創建時の様子を知らず掛かりになるという。

①京都市東山区の方広寺を創建したのは誰ですか。

(豊臣秀吉)

②江戸時代に焼失した方広寺の大仏殿はどのくらいの大きさで推定されていますか。

南北約90メートル、
東西約55メートル

秀吉創建の方広寺(京都) 築地塀跡発見

研究所によると、礎石を割る際に生じる矢穴の形状が、秀吉が晩年に築いた京都新城（同市上京区）の石垣に残る跡と似ていたことから、築地塀は秀吉期の造営とみられる。礎石は方広寺の南東部で二つ発見され、築地塀の南辺と考えられるという。

礎石には柱を固定するためのくぼみがあり、柱は3・3メートル間隔で並んでいたとみられる。研究所の南孝雄調査課長は「荘厳な大仏殿にふさわしく、築地塀も巨大だったと推測される」と話す。

方広寺大仏殿は1567年に焼けた東大寺大仏殿に代わるものとして秀吉が造営した。96年の大地震で大仏が破損した。

③方広寺の大仏殿を造営した理由は何ですか。

1567年に焼けた東大寺大仏殿に代わるものとして(造営した)。

④今回発見された「築地塀の柱を据えた礎石」が秀吉時代のものと考えられる理由は何ですか。

礎石を割る際に生じる矢穴の形状が、秀吉が晩年に築いた京都新城の石垣に残る跡と似ていたから。

年 組 名前